

# 重油燃焼式回転炉から誘導加熱炉導入事例

(株)玉船鍛工所

## 1. はじめに

株式会社玉船鍛工所(写真1)は、昭和34年11月に創業し、主に建設機械、工作機械、運搬機械向けに、鍛造製品を生産している。創業時から重油燃焼式回転炉を使用していたが、重油価格の高騰、作業環境性改善、品質向上等により、重油燃焼式回転炉1台を誘導加熱炉に変更した。

弊社は、名古屋市中川区の中川運河の近くにある。大正時代に中川運河は、建設を開始し昭和5年に完成した。この運河は、パナマ運河と同じように水門(写真2)で水位を調節して船を航行させていたが、昭和50年代にトラック輸送に追われ廃止された。現在水門内部は埋め立てられ公園になっている。

以下に中川運河の近くにある弊社の工場概要および導入事例を紹介していく。

## 2. 工場概要

### (1) 建設概要

ア 住所 名古屋市中川区玉船町3丁目1番地



写真1 工場全景

- イ 敷地面積 2,806 m<sup>2</sup> (850 坪)
  - ウ 建築面積 1,866 m<sup>2</sup> (565 坪)
- (2) 基本コンセプト
- ア 効率的な投資で多品種少量生産の小回りのきく工場。
  - イ 低コスト運営で収益性の高い工場。
  - ウ 高度の品質を確保。
  - エ 環境との共生を図る。



写真2 水位差を調整した水門の松重閘門



写真3 ロットレット、シリンダーボトム